

① ④1は、タマネギの表皮の細胞、④2はヒトのほおの内側の細胞に酢酸カーミン溶液をたらし、顕微鏡で観察したスケッチである。

(1) 酢酸カーミン溶液はどんな目的で使うか。

図1

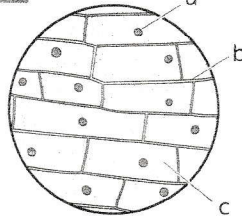
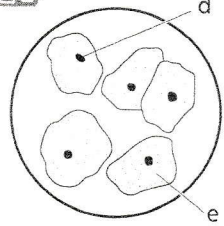


図2



(核を染めて観察しやすくするため)

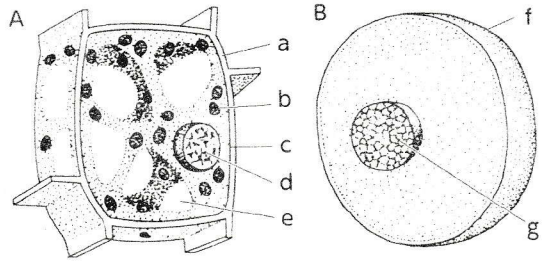
(2) ④1、④2で、酢酸カーミン溶液で染色された部分はどこか。  
a～eからすべて選べ。

( a, d )

② 右のA、Bの図は、植物と動物の細胞のつくりを模式的に表している。

(1) ④のa～eの部分の名前を答えよ。

a (細胞壁)      b (葉緑体)  
c (細胞膜)      d (核)  
e (液胞)



(2) 動物の細胞はA、Bのどちらか。 ( B )

(3) Aの細胞で、a、dを除いた部分を何というか。 (細胞質)

(4) 光合成が行われる部分は、④のa～gのどこか。 ( b )

(5) Aの細胞のaのつくりの役割を次のア～エから1つ選べ。

ア. 体の乾燥を防ぐ      イ. 呼吸しやすくする  
ウ. 体の形を保つ      エ. 養分をたくわえる

(ウ)

(6) Aのa～eのうち、Bのfにあたるものはどこか。 ( c )